

NSTC	Issue #: 001	Revision #: 010	Prepared by: EM
Document Code: QMS11403-1	Issue Date: 11/11	Revision Date: 08/23	Approved by: AN
Reference Joining Instruction 参加案内書			Page 1 of 5



日本サバイバルトレーニングセンター
NSTC Nippon Survival Training Center

BOSIET 参加案内書

この度は、日本サバイバルトレーニングセンター（以下 NSTC）にお申込みいただきありがとうございます。この「参加案内書」を事前によくお読みになり、訓練にご参加ください。

◆ 申込

訓練には、身体的な負担、ストレスが発生する要素が含まれています。

医学的に健康であることを証明するため、以下の書類を事前にご提出ください。

- ・健康状態確認書（医者の診断、及びサイン必須）
- ・訓練参加のための健康状態申告書
- ・訓練に関する同意書
- ・個人情報の取扱いに関する同意書
- ・感染症に関する訓練受講同意書

HPよりダウンロード後、必要事項をご記入のうえ、**訓練の15日前まで**にPDFをメールにて送信ください。

※訓練開始15日前までにお手続きが確認できない場合、申込時に同意いただきましたキャンセルポリシーに則り、**申込訓練のキャンセル及びキャンセル料金の請求をさせていただきます。**

当日は健康な状態でご参加ください。またドラッグやアルコールは禁止しております。

◆ 服装、携行品

- ・**訓練に適した動きやすい服装**でお越しください。

訓練に**適さない服装例**： ショートパンツ、スカート、ノースリーブ、サンダル、ビーチサンダル等

- ・安全のため、訓練中は**アクセサリ**を外してください。
- ・安全及び、紛失や感染症予防のため、**プール**での訓練中は、**コンタクトレンズを外して頂きます。**
(コンタクトレンズを外した状態だと、説明などが見えづらいこともありますので、眼鏡をご持参ください)

◆ ご持参いただく物

- ・**写真付公的身分証明書**（マイナンバーカード・運転免許証、パスポート、船員手帳、在留カード等）
- ・筆記用具
- ・**水着**、ビニール袋（濡れた水着のため）、眼鏡及びコンタクトレンズケア用品（洗浄液、ケース等）
- ・酔い止め薬（救命艇訓練が必要な方）

NSTC	Issue #: 001	Revision #: 010	Prepared by: EM
Document Code: QMS11403-1	Issue Date: 11/11	Revision Date: 08/23	Approved by: AN
Reference Joining Instruction 参加案内書			Page 2 of 5

◆NSTC で用意しているもの

- ・保護具(ヘルメット等)、バスタオル、つなぎ、長靴、防寒着、訓練用雨具
- ・昼食 (お弁当をご準備致します。)
- ・ドリンク (ウォーターサーバーがございます。):お水、コーヒー、等

◆受付

- ・時間割に記載の受付時間までに NSTC 受付(日水ビル 4 階)にお越しください。
- 遅れる場合は、**093-884-2020** へ必ずご連絡ください。
- ※会場は開始 30 分前より開放いたします。

◆遅刻について

- ・万が一遅刻をされた場合には、修了証を発行できない可能性もございます。
- ・**若松訓練施設へは NSTC の移動車で移動しますが、出発時刻に遅れた場合は各自タクシーで移動していただきます。その際の交通費は実費でご負担いただきますので十分ご注意ください。**

◆駐車場ご利用について

駐車場ご利用には許可証が必要となります。ご利用の方は、メールにて【受講者名】【訓練名】【訓練日】【車種・車番】を事前にご連絡ください。※レンタカーご利用の方は【車種車番】は不要です。【レンタカー利用】とご記載ください。

◆訓練中止について

自然災害等(感染症含む)により、やむを得ず訓練を中止とする場合があります。そのような場合は遅くとも**当日朝 7 時までには NSTC ホームページのニュースにて訓練の中止をお知らせいたします**ので、開催が危ぶまれるような状況と判断した場合はホームページを当日の朝ご確認ください。

NSTC	Issue #: 001	Revision #: 010	Prepared by: EM
Document Code: QMS11403-1	Issue Date: 11/11	Revision Date: 08/23	Approved by: AN
Reference Joining Instruction 参加案内書			Page 3 of 5

◆アクセス情報

〒804-0076 北九州市戸畑区銀座二丁目6番27号 **日本水産ビル4F** 戸畑駅北口より徒歩約10分

TEL: 093-884-2020 (平日 8:00~17:00) Mail: book@n-s-t-c.com



航空機利用の場合

【福岡空港より】

福岡空港 → 博多駅 (地下鉄) 約10分
博多駅 → 戸畑駅 (JR特急) 約40分
(JR快速) 約60分

【北九州空港より】

北九州空港 → 朽網駅 (バス) 約20分
朽網駅 → 西小倉駅 → 戸畑駅 (JR普通) 約25分
または
北九州空港 → 小倉駅 (バス) 約35分
小倉駅 → 戸畑駅 (JR普通) 約10分

新幹線利用の場合

JR小倉駅にて新幹線下車
小倉駅 → 戸畑駅 (JR普通) 約10分

お車でお越しの場合

戸畑ICから車で約5~10分

NSTC	Issue #: 001	Revision #: 010	Prepared by: EM
Document Code: QMS11403-1	Issue Date: 11/11	Revision Date: 08/23	Approved by: AN
Reference Joining Instruction 参加案内書			Page 4 of 5

◆OPITO 認証コースについて

NSTC の訓練コースは OPITO により設定された基準に沿って実施されます。訓練中に受講者は OPITO によって設定されたすべての学習成果を満たしていることを、資格のあるインストラクターによって評価されます。受講者は、直接観察および必要に応じて口頭及び/又は書面による質疑応答によって下記学習成果に対して評価されます。何らかの理由で、学習成果の一つ以上を満たしていない場合、受講者は修了証が発行されるように、未修了の内容を繰り返す必要があります。

訓練に関するより良い理解を得るため、Youtube に掲載している [OPITO BOSIET ブリーフィングビデオ](#)をご参照ください。

BOSIET モジュール 1; 安全に関する導入の学習成果

このモジュールを修了するために、受講者は以下を理解する必要があります:

- (1) 主な洋上での危険の識別、潜在的な重要性（結果）とそのコントロール法の説明
- (2) 洋上施設作業の潜在的な環境影響（インパクト）の説明
- (3) 主な洋上施設の安全規則の理解、それらの基本概念の説明
- (4) 洋上施設における安全管理原則の説明
- (5) 洋上での薬の処方に関する手順の理解
- (6) アルコールと麻薬濫用ポリシーの説明
- (7) 洋上施設での作業時の保護具の要件の説明
- (8) 洋上施設でのインシデント、アクシデント、ニアミス の報告法の説明
- (9) 洋上の医師（医療担当者）の役割の説明

BOSIET モジュール 2; ヘリコプターの安全と脱出の学習成果

受講者は、このモジュールを修了するためには、以下の内容を実証しなければなりません:

- (1) 航空用スーツ、航空用救命胴衣、EBS の着用と、EBS の状態確認
- (2) ヘリコプターの緊急不時着水および緊急着陸に対する準備行動
- (3) コントロールされた緊急降下から陸上への着陸時の行動（指定された出口からの避難を含む）
- (4) プールでの訓練における EBS の操作および使用（HUET エクササイズに先立ち、プール内で水中で発生する陰圧と陽圧を体験する）
- (5) コントロールされた洋上への不時着水時の行動（EBS の展開、クルーからの指示、プッシュアウトウインドウの開放を含む）と指定された出口から航空用救命いかだへの乗艇
- (6) 仲間へのアシストおよび航空用救命いかだ乗艇後の行動（もやい綱の切断、シーアンカーの投下、キャノピーの組み立て、いかだのメンテナンスを含む）
- (7) 機体の一部が浸水した状態で窓からの脱出（EBS の展開無し、プッシュアウトウインドウの開放無し）
- (8) 機体の一部が浸水した状態で窓からの脱出（EBS の展開および使用有り、プッシュアウトウインドウの開放無し）

NSTC	Issue #: 001	Revision #: 010	Prepared by: EM
Document Code: QMS11403-1	Issue Date: 11/11	Revision Date: 08/23	Approved by: AN
Reference Joining Instruction 参加案内書			Page 5 of 5

- (9) 機体の一部が浸水した状態で窓からの脱出（EBS の展開および使用有り、水中でプッシュアウトウインドウの開放有り）
- (10) 機体が水中で転覆した状態で窓からの脱出（EBS の展開無し、プッシュアウトウインドウの開放無し）
- (11) 機体が水中で転覆した状態で窓からの脱出（転覆前に水面での EBS の展開有り、プッシュアウトウインドウの開放無し）
- (12) 機体が水中で転覆した状態で窓からの脱出（転覆前に水面での EBS の展開有り、水中でプッシュアウトウインドウの開放有り）
- (13) 航空用救命胴衣の膨張と水面でのスプレーフードの着用
- (14) 水中から航空用救命いかだへの乗艇

BOSIET モジュール 3; シーサバイバルの学習成果

受講者は、このモジュールを修了するためには、以下の内容を実証しなければなりません：

- (1) 緊急時に使用する固形型救命胴衣の着用
- (2) 全閉囲型救命艇（TEMPSC）への集合、乗艇時および進水時での救命艇乗員としての行動
- (3) ヘリコプターリフティングストラップの装着、ウインチング時の適切な姿勢
- (4) HELP、波しぶきに対するガード、トーイング、チェイン、ハドル、サークルを含む、単独および団体でのサバイバルテクニック
- (5) 水中から救命いかだへの乗艇
- (6) 気道、呼吸の確認および、業界で認識されている応急処置を含む、迅速な応急処置行動。

BOSIET モジュール 4; 消火とセルフレスキューの学習成果

受講者は、このモジュールを修了するためには、以下の内容を実証しなければなりません：

- (1) 適切な持ち運び式消火器の正しい使用及び、異なる種類の火災に対する、正しい種類の持ち運び式消火器の使用
- (2) 視界が悪いエリアからのスモークフードまたは部分的な目隠しを使用したセルフレスキューテクニック
- (3) 視界が完全に閉ざされたエリアからのスモークフードまたは部分的な目隠しを使用したセルフレスキューテクニック
- (4) 視界が完全に閉ざされた場所からのスモークフードまたは部分的な目隠しを使用した小グループでのエスケープテクニック